

授業の様子

令和7年度 馬込小学校 研推だより 6年生号

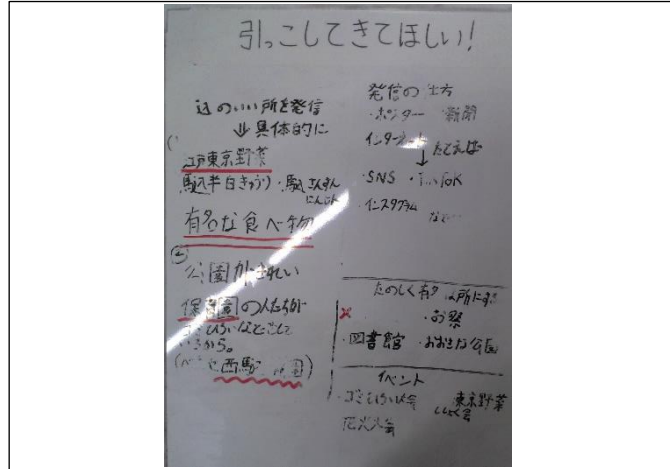
令和7年12月24日（水）

思考力・判断力・表現力を育てる学習指導の工夫

～対話を通して互いの考えを認め合い、

問題解決を図る児童の育成をめざして～

6-1



よかった点
他のグループとの交流時間をとることで、より多くのアイデアを出すことができた。

改善点
地域のマイナス面に目を向ける班が多かった。プラス面を生かす声掛けを多くするべきだった。

他の地域での取り組みを調べる時間を取れば、より現実的な企画が出たと思う。

6-2



よかった点
自分の意見を伝えることが苦手な児童も積極的に発言し、学級内でより良い内容を導き出せるように工夫していた。

改善点
目的が不明確になってしまうこともあった。自分たちが楽しむことが目的に変わってしまい、本質を見失うことがあった。

6-3

結果	豆電球	発光ダイオード
①	68秒	10分以上
②	1分22秒	3分以上
③	44秒	2分29秒
④	52秒	8分以上
⑤	47秒	2分以上
⑥	60秒	3分以上
⑦	58秒	9分以上
⑧	1分11秒	2分以上

よかった点
同じ条件で実験し正確な結果が得られるように実験の方法を考えることができた。

改善点
実験前に予想をしていなかったため、得られた結果からどのようなことがいえるか、予想と比較しながら考察することができなかった。一人一人が予想や見通しをもって実験に取り組むべきだった。

6-4



よかった点
馬込という町がより良くなるための企画をたくさん考えることができた。

改善点
企画を考えることに注力しすぎて「時代は過ぎても馬込は残る」というコンセプトから離れた企画が出てしまったので、「どんな馬込を残したいのか」を考える時間を設けるべきだった。

学年のまとめ

「馬込のまちをもっと良くしてほしい」という馬込出張所の方からのミッションを受けて、まず自分たちが暮らす馬込のよさや課題を見出す活動を行った。それらを基に、どんな馬込のまちを目指していくか考え、各クラスでコンセプトを設定した。コンセプトに沿ってこどもたちは企画を考えましたが、課題点に目を向け過ぎてしまいよさを伸ばしていく視点での企画が少なくなってしまうたり、「コンセプトに沿う」ということから離れてしまう企画もあったりした。馬込出張所の方への企画のプレゼンでは、伝えたいことを端的にまとめたパンフレットやスライドを使って各グループごとにプレゼンを行った。その企画を考えた理由やきっかけを明確にして、馬込のまちがもっと良くなるように提案をすることができた。